



令和元年11月5日  
十日町市企画政策課

## 「第33回 新潟県ふるさとづくり大会 in 十日町市」が開催されます

県内で地域づくりに携わる住民が集まり研修・交流を行うことで住民自治活動の活性化を図ることを目的とし、毎年県内自治体の持ち回りで開催している「新潟県ふるさとづくり大会」を、今年は十日町市で開催します。

### 1 開催日及び会場

開催日：令和元年11月10日（日） 午後1時00分 ～ 5時10分

会場：越後妻有文化ホール 段十ろう

(※) 午後2時50分までは同日開催の「まちなか×GAKUENSAI 2019」等の自由見学時間となるため、開会行事は午後3時00分に開始されます。

### 2 主催及び企画運営

(1) 新潟県ふるさとづくり大会in十日町市 実行委員会

(2) あしたの新潟県を創る運動協会

### 3 内容

(1) 自由見学

(2) 開会行事（市長挨拶及び新潟県知事の祝辞あり）

(3) 第38回新潟県自治活動賞表彰式

(4) パネルディスカッション

テーマ：「市民活動と協働のまちづくり」

コーディネーター：特定非営利活動法人まちづくり学校 理事 山賀昌子様

パネリスト：特定非営利活動法人市民活動ネットワークひとサポ  
理事長 渡貫文人氏 ほか3名

### 4 添付資料

「第33回 新潟県ふるさとづくり大会 in 十日町」チラシ及び当日配布資料

#### ■お問合せ先

十日町市総務部企画政策課 協働推進係

担当：山岸正幸 ☎025-757-3693（直通）

第33回 新潟県ふるさとづくり大会in十日町市

# 十日町市の市民活動 全部見せます



**日時** 令和元年11月10日(日)

13:00～13:30 受付

13:00～14:50 自由見学

「市民活動見本市めっかめっか」ステージ・ブース等

15:00～ 大会

17:30～ 交流会



**会場** 受付～大会：越後妻有文化ホール「段十ろう」

交 流 会：レポート十日町

【主催】 新潟県ふるさとづくり大会in十日町市実行委員会  
あしたの新潟県を創る運動協会

【共催】 十日町市

【後援】 新潟県 新潟県市長会 新潟県町村会 新潟県市議会議長会 新潟県町村議会議長会  
新潟県公民館連合会 新潟県婦人連盟  
新潟日报社 NHK新潟放送局 新潟NPO協会

# 大会次第

## 13時00分 受付開始

14時50分までは自由見学時間です。

会場内及び市街地で、市民活動団体や高校生によるステージ発表やブースの見学・体験ができます。

(※) 内容及び場所は**別添の配布資料参照**

開会行事に間に合うように「段十ろう」ホールにお戻りください。

## 15時00分 開会行事

主催者あいさつ	大会実行委員会 委員長	渡貫文人
	あしたの新潟県を創る運動協会 会長	神保和男
歓迎あいさつ	十日町市長	関口芳史
祝 辞	新潟県知事	花角英世 様

## 15時20分 第38回新潟県自治活動賞表彰式

## 15時30分 自治活動賞受賞団体代表の活動事例発表

## 15時40分 パネルディスカッション

テーマ「市民活動と協働のまちづくり」

### ●コーディネーター

特定非営利活動法人 まちづくり学校 理事 山賀昌子 様

### ●パネリスト

特定非営利活動法人 市民活動ネットワークひとサポ 理事長 渡貫文人  
だんだん会 代表 飯塚茂夫  
十日町市地域支援員 佐藤美保子、本山敏雄

## 17時00分 閉会行事

次年度開催地紹介

閉会あいさつ あしたの新潟県を創る運動協会 副会長 井上智明

## 17時30分 交流会

開会あいさつ	大会実行委員会 副委員長	川田一幸
乾杯	大会実行委員会	
閉会あいさつ	大会実行委員会	

## 第38回 新潟県自治活動賞の受賞団体紹介

(五十音順)

### 【いこいの郷庄川平コミュニティ】

平成26年4月に見附市庄川平地区（9町内）の住民がコミュニティ設立準備会を結成し、9回に及ぶ話し合いを経て「庄川平地区まちづくり計画」を作成した。そして、同年12月に組織を立ち上げて以降、計画に掲げた「絵になる景観を守るまち（自然）」、「世代を超えて人と人が結びつくまち（交流）」、「みんなの和、心豊かに過ごせるまち（安心）」の実現を目指して活動を続けている。特に、庄川平春祭り、庄川平作品展は、参加者も多く、地域の住民から喜ばれている。

### 【上早川地区地域づくりプラン実行委員会】

平成25年から2年間をかけて、住民による「地域づくりプラン」を作成した。目標は、誇りをもって住み続けることのできるふるさとを創ること。プランには、これを実現するため、①農産物販売所強化、②いこいの場創造、③情報発信の3事業と、自主財源確保を目指した資源物回収事業の実施を掲げており、現在、各事業に取り組んでいる。特にA3判紙両面刷りの地域情報紙を月2回発行している情報発信事業は、故郷を離れた同地区出身者にも送付され、好評を博している。

### 【スーパー素人劇団「かわにし夢きゃらばん」】

田舎のまちにプロの劇団公演を誘致しようと、地域の女性と青年層の有志が「かわにし夢きゃらばん」を立ち上げた。誘致は成功し、公演は大盛況だった。

公演終了後、同会は、会員による演劇の自主公演の実現という目標を新たに掲げて活動を継続し、現在は、地域の伝説、古典の名作をベースにしたオリジナル作品の上演を続けている。すべて手づくり、隠れた才能を生かす、幅広い年代と階層の参加、娯楽に徹する、をモットーに、地域の新しい文化創造を目指している。

### 【トチオノアカリ協議会】

「栃尾の夜を明るく照らしたい」という中学生の夢を実現し、地域の子ども達にふるさとへの誇りをもってもらおうと、旧栃尾市の青年有志が中心となって「トチオノアカリ協議会」を立ち上げた。そして、同協議会は、平成28年に「とちお夜のランプまつり」を実現させて以降、実施時期の近い「アカリイベント」との統合や同時開催を進めており、平成30年には「秋葉百八風鈴」と「とちお夜のランプまつり」を統合し、「トチオノアカリ」を開催した。

# 市民活動見本市めっかめっか等 概要

## 市民活動見本市めっかめっか

市内の市民活動団体が集まり、日ごろの活動の成果や魅力を発信する見本市です。参加団体は、日頃の活動をPRするブースの出展やステージ発表への出演等を行い、団体同士や団体と参加者の繋がりを生み出します。

今年度は「まちなか×GAKUENSAI」に含めての開催となるため、高校生のパワーも合わさって、例年以上の盛り上がりを見せます！



## まちなか× GAKUENSAI (学園祭)

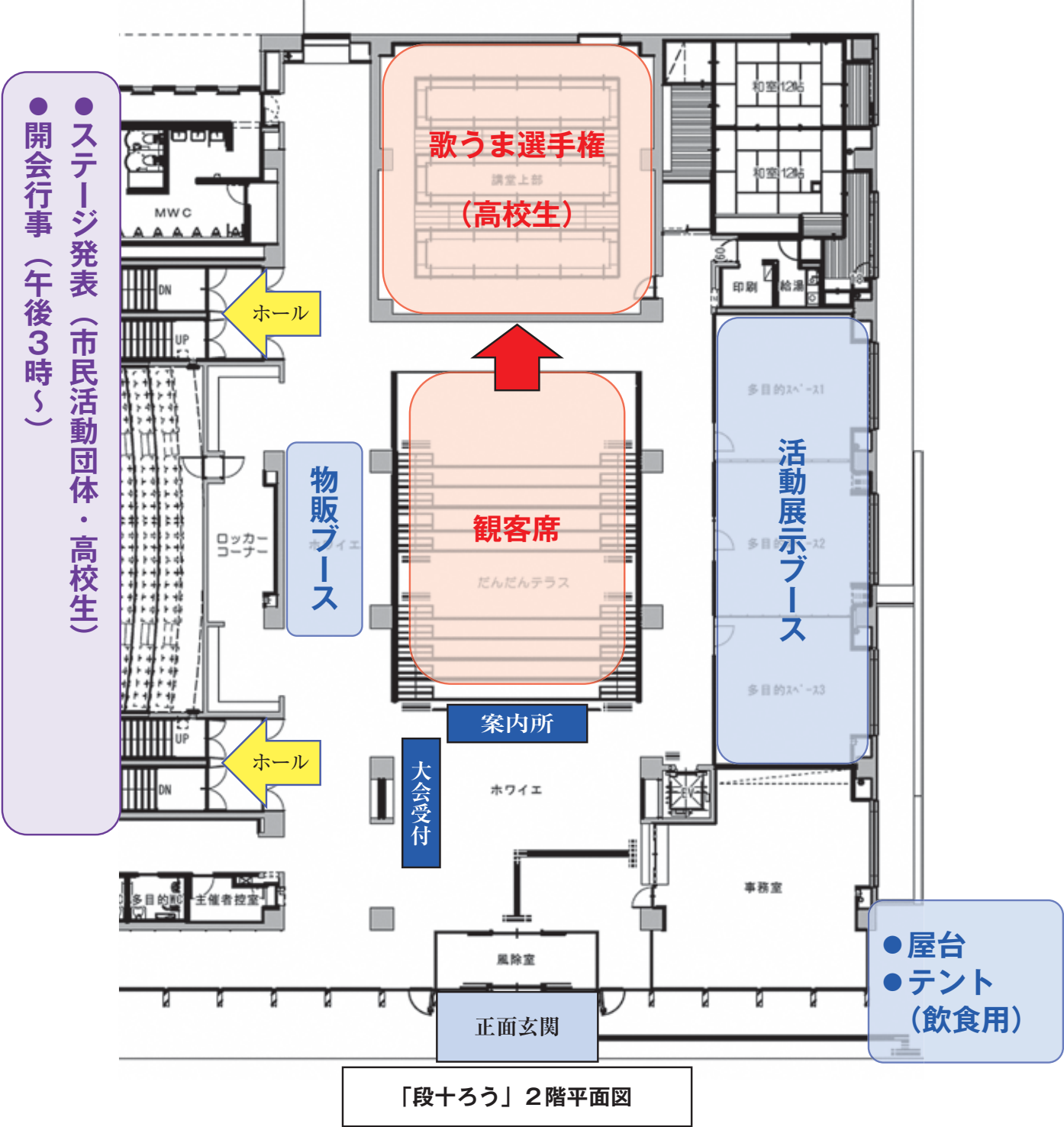
まちなか（中心市街地）から十日町を元気にしようと、まちなかの各施設と、市内の高校生たちが協力して開催するGAKUENSAI（学園祭）です。高校生が中心となって企画した様々なアクティビティ（ライブ、レストラン、屋台、カフェ、作品展示、ワークショップなど）を、会場となる6施設で同時開催します。



## 「市民活動ネットワーク ひとサポ」について

- 2011年4月に「市民の力で十日町市を盛り上げたい」をいう有志が集まり発足。
- 2012年から、十日町市で唯一の「中間支援組織」として、市民活動を行う個人や団体向けの相談窓口開設、ホームページや情報誌による情報発信、「市民活動見本市めっかめっか」や「まちなか×GAKUENSAI」などの交流促進イベントの開催など幅広く活動中。
- 2015年7月にNPO法人化。2016年にオープンした十日町市市民交流センター「分じろう」と十日町市市民活動センター「十じろう」の運営管理を行いつつ、協働のまちづくり関連の活動を実施している。

# 自由見学ステージ・ブース案内



(※) 活動展示ブースの内容や、ステージ発表の内容・スケジュール等は別添の資料でご確認ください。また、「段十ろう」以外の会場でも市街地で「まちなか×GAKUENSAI」の展示・イベントを実施中です。会場及び内容については別添の資料でご確認ください。

# パネルディスカッション

## テーマ：「市民活動と協働のまちづくり」

市民活動や協働のまちづくり、地域支援の観点から、地域課題との向き合い方について、これまでの活動事例を交えたディスカッションを行います。

### コーディネーター

**山賀昌子 様** 特定非営利活動法人 まちづくり学校 理事

五泉市村松出身。新潟市の建設コンサルタント会社で、住民参加型まちづくりの計画策定、住民参加による公園や道路、河川等の設計時におけるワークショップの企画運営を行う。その他、新潟県内外のまちづくり研修、ワークショップ研修などの講師を務め、2000年に独立、2001年NPO法人まちづくり学校設立時に事務局長に就任。2002年に退任後、2007年NPO法人まちづくり学校事務局に復帰、現在に至る。事務局業務の他、研修講師やワークショップの企画運営を行う。

### パネリスト

◆ 特定非営利活動法人 市民活動ネットワークひとサポ 理事長 **渡貫文人**

食料品・惣菜店を経営する傍ら、市内唯一の中間支援組織「ひとサポ」の理事長を務めている。これ以外にも複数の団体の代表を務め、数多くの市民活動を先導・支援し、地域内外の繋がりや活力を生み出すことに貢献してきた。

◆ だんだん会 代表 **飯塚茂夫**

引きこもりという地域課題に福祉、教育、子育て、まちづくりに関係した団体・個人が相互に連携し、民・官協働のもとに包括的な支援を行うことを目的とした「だんだん会」の代表を務める。元十日町市議会議員。

◆ 十日町市地域支援員 **佐藤美保子、本山敏雄**

総務省の「集落支援員」制度を活用した「十日町市地域支援員」の2名。  
平成30年度から、市内で最も高齢化が進む松之山地域において活動中。  
中学生以上の全住民を対象にしたアンケートなどにより地域課題を分析し、現在は課題解決に向けた地域内での話し合い促進に向け取り組んでいる。

# あしたの新潟県を創る運動協会

あしたの新潟県を創る運動協会の前身である新潟県新生活運動協会は、戦後の新しい時代に即した生活様式の確立を目指して設立された国の外郭団体「新生活運動協会」の県内推進組織として、昭和31年に設立されました。

その後、生活改善を実践する場が地域であったことから、活動の重点が、次第に、生活改善から地域住民活動の普及と活性化へと移り、昭和58年には団体の名称も「あしたの新潟県を創る運動協会」に変えて、以来、一貫して、多様な住民活動の育成と支援に取り組んできました。

また、近年、市町村合併の進行に伴って市町村がコミュニティ行政へ積極的に取り組みはじめたことから、当協会は、コミュニティ行政の支援と、地域づくりでの市町村と地域住民団体の協働促進にも取り組んでいます。

協会の主な事業は、顕彰事業（県自治活動賞、県花いっぱいコンクール）と研修・交流事業（県ふるさとづくり大会、各種研修会等）ですが、近年、地域の人口減少が、地域の存亡を脅かす大きな問題であることが明らかになったことから、平成28年度から、県市町村振興協会の支援を得て、人口増加に取り組む地域を支援する定住人口増加取組地域支援事業を実施しています。

会長は、設立当初は新潟県知事が務めていましたが、昭和61年度以降は県の副知事や出納長経験者に代わり、現在は、神保和男元副知事が務めています。

（協会と協会活動の詳細は、当協会のホームページをご覧ください。）

## 平成30年度の主な活動

期 日	活 動 内 容
4月25日(水)	平成30年度総会を開催
5月16日(水)	第1回理事会を開催
6月上旬	定住人口増加取組地域支援事業の支援申請受付と県自治活動賞、県花いっぱいコンクールの応募・参加団体の募集を開始
9月7日(金)	定住人口増加取組地域支援事業の平成30年度支援開始地域を決定
10月21日(日)	第51回県花いっぱいコンクール表彰式を実施
10月27日(土)	第32回県ふるさとづくり大会を開催 (大会の中で第37回県自治活動賞の表彰式を実施)
2月28日(木)	第2回理事会を開催





雪里×現代アート 幻想的な空間へようこそ  
～越後妻有 雪花火／ Gift for Frozen Village 2020.2.29 開催～

このイベントは「大地の芸術祭の里」の冬のイベントとして開催し、作家高橋匡太が演出します。広大な雪原を「光の種」が彩る幻想的な光の花畑、音楽と花火が共演するミュージックスターマイン、そして、冬の花火では最大級の三尺玉が夜空に輝き感動を呼びます。

会場となる当間高原リゾートベルナティオでは、地元の食材で作られたあたたかな食事を楽しめる屋台や、日中楽しめるスノーアクティビティもあります。真冬の最高のひとときを十日町で過ごしませんか。ご来場をお待ちしています。

## 新潟県ふるさとづくり大会 in 十日町市実行委員会

委員長 渡 貴 文 人 (特定非営利活動法人 市民活動ネットワークひとサポ 理事長)

副委員長 川 田 一 幸 (十日町市地域自治組織連絡協議会 会長)

実行委員 樋 口 一 次 (十日町市地域自治組織連絡協議会 副会長)

実行委員 村 山 薫 (十日町市地域自治組織連絡協議会 副会長)

実行委員 葺 澤 篤 (特定非営利活動法人 市民活動ネットワークひとサポ)

事務局 十日町市総務部企画政策課 協働推進係 (電話025-757-3693)

事務局 あしたの新潟県を創る運動協会事務局 (電話025-280-5912)